



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 太陽化学株式会社  
 コード番号 2902 URL <https://www.taiyokagaku.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 山崎 長俊  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

TEL 059-340-0802

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	21,107	0.6	2,166	24.6	2,480	19.1	1,593	26.4
2022年3月期第2四半期	20,977	7.2	2,875	9.1	3,065	10.2	2,164	10.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,155百万円 (11.2%) 2022年3月期第2四半期 2,426百万円 (2.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	93.78	
2022年3月期第2四半期	122.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	56,660	45,264	77.6
2022年3月期	54,714	44,159	78.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 43,941百万円 2022年3月期 42,825百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		54.00	64.00
2023年3月期		10.00			
2023年3月期(予想)				43.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	5.1	4,700	2.1	4,700	11.3	3,000	17.3	176.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	23,513,701 株	2022年3月期	23,513,701 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	6,587,795 株	2022年3月期	6,514,921 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	16,993,885 株	2022年3月期2Q	17,612,916 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の進展や、行動制限の緩和により景気持ち直しの動きが見られましたが、国際情勢の不安定化に伴うエネルギー価格の高騰に加え、急激に円安が進むなど、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、外食産業向け商品の需要は回復基調となりましたが、エネルギー価格や原材料価格の高騰は長期化すると考えられ、企業を取り巻く事業環境はより厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、211億7百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。営業利益は、21億66百万円（前年同四半期比24.6%減）となりました。経常利益は、24億80百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、15億93百万円（前年同四半期比26.4%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

#### ■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、国内、欧州及びアジア市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

カテキンは、国内及び欧州市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

ミネラル製剤は、国内市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

テアニンは、国内市場は増加しましたが、米国市場が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、51億98百万円（前年同期四半期比0.6%減）、営業利益は、9億28百万円（前年同期四半期比23.1%減）となりました。

#### ■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

飲料用途及び一般食品用途は国内及び海外市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

化粧品、トイレタリー用途は、海外市場は減少しましたが、国内市場が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、62億24百万円（前年同期四半期比5.6%増）、営業利益は、9億57百万円（前年同期四半期比25.6%減）となりました。

#### ■ ナチュラルイングリディエント事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、国内市場のめん用途、調味料用途等の粉末卵が増加しましたが、調味料用途等向けの液卵加工品が減少しました結果、売上高は前年を下回りました。

即席食品用素材は、即席めん用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

安定剤は、国内市場の飲料用途が減少しましたが、デザート用途、冷菓用途、増粘用途が増加しました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、96億14百万円（前年同期四半期比2.0%減）、営業利益は、2億59百万円（前年同期四半期比31.1%減）となりました。

#### ■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、70百万円（前年同期四半期比72.1%増）、営業利益は、21百万円（前年同期四半期比461.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して19億46百万円増加して566億60百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加14億80百万円、商品及び製品の増加14億79百万円、原材料及び貯蔵品の増加11億43百万円、建物及び構築物（純額）の増加5億2百万円、機械装置及び運搬具（純額）の増加11億63百万円、現金及び預金の減少31億26百万円、有形固定資産その他（純額）の減少8億29百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比較して8億41百万円増加して113億95百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加12億28百万円、賞与引当金の増加2億27百万円、未払法人税等の減少1億21百万円、流動負債その他の減少6億12百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して11億5百万円増加して452億64百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益15億93百万円の計上、為替換算調整勘定の増加4億95百万円、自己株式の取得による減少1億20百万円、配当金の支払による減少9億18百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.3%から77.6%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,190,721	4,064,354
受取手形及び売掛金	9,306,326	10,786,924
商品及び製品	4,454,699	5,934,271
仕掛品	713,117	748,379
原材料及び貯蔵品	2,044,488	3,187,613
その他	1,279,144	1,310,182
貸倒引当金	△12,433	△19,397
流動資産合計	24,976,064	26,012,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,265,100	8,767,256
機械装置及び運搬具（純額）	4,741,402	5,905,320
土地	8,166,552	8,168,225
その他（純額）	2,591,098	1,761,726
有形固定資産合計	23,764,154	24,602,528
無形固定資産	218,387	195,669
投資その他の資産		
投資有価証券	4,904,591	4,925,817
その他	863,773	937,199
貸倒引当金	△12,950	△12,950
投資その他の資産合計	5,755,415	5,850,066
固定資産合計	29,737,957	30,648,264
資産合計	54,714,021	56,660,591

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,842,094	6,070,943
未払法人税等	981,935	860,491
賞与引当金	227,036	454,382
その他	2,811,201	2,198,806
流動負債合計	8,862,267	9,584,624
固定負債		
長期借入金	499,346	589,213
退職給付に係る負債	163,391	156,568
役員退職慰労引当金	492,520	504,519
その他	537,054	560,981
固定負債合計	1,692,312	1,811,281
負債合計	10,554,580	11,395,905
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,340,648	7,350,744
利益剰余金	32,694,218	33,369,402
自己株式	△6,939,438	△7,060,240
株主資本合計	40,826,050	41,390,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,588,800	1,641,563
繰延ヘッジ損益	1,560	2,771
為替換算調整勘定	423,903	919,067
退職給付に係る調整累計額	△14,593	△12,014
その他の包括利益累計額合計	1,999,670	2,551,388
非支配株主持分	1,333,720	1,322,769
純資産合計	44,159,441	45,264,685
負債純資産合計	54,714,021	56,660,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	20,977,717	21,107,911
売上原価	14,627,720	15,193,953
売上総利益	6,349,996	5,913,958
販売費及び一般管理費	3,474,849	3,747,114
営業利益	2,875,146	2,166,843
営業外収益		
受取利息	22,813	35,980
受取配当金	40,573	44,755
持分法による投資利益	13,562	—
為替差益	84,652	271,866
その他	80,326	87,839
営業外収益合計	241,927	440,442
営業外費用		
支払利息	5,500	7,010
貸与資産減価償却費	28,960	27,866
持分法による投資損失	—	70,980
その他	17,393	21,237
営業外費用合計	51,854	127,095
経常利益	3,065,219	2,480,190
特別利益		
固定資産売却益	3,570	100
特別利益合計	3,570	100
特別損失		
固定資産除売却損	13,899	13,824
特別損失合計	13,899	13,824
税金等調整前四半期純利益	3,054,890	2,466,466
法人税等	839,036	850,779
四半期純利益	2,215,854	1,615,687
非支配株主に帰属する四半期純利益	51,565	22,064
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,164,288	1,593,622



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,215,854	1,615,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	162,696	63,678
為替換算調整勘定	74,274	483,632
退職給付に係る調整額	3,325	2,579
持分法適用会社に対する持分相当額	△29,466	△9,703
その他の包括利益合計	210,830	540,186
四半期包括利益	2,426,684	2,155,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,288,939	2,145,340
非支配株主に係る四半期包括利益	137,745	10,533

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	ナチュラル イングリ ディエント 事業	計		
売上高						
日本	2,583,599	4,835,998	8,588,111	16,007,709	35,046	16,042,756
アジア	349,867	731,173	1,224,439	2,305,480	6,047	2,311,528
アメリカ	1,633,659	28,692	—	1,662,351	—	1,662,351
欧州	663,145	297,934	—	961,080	—	961,080
顧客との契約から生 じる収益	5,230,271	5,893,799	9,812,551	20,936,622	41,094	20,977,717
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,230,271	5,893,799	9,812,551	20,936,622	41,094	20,977,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,230,271	5,893,799	9,812,551	20,936,622	41,094	20,977,717
セグメント利益	1,207,037	1,286,925	377,438	2,871,400	3,745	2,875,146

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	ナチュラル イングリ ディエント 事業	計		
売上高						
日本	2,567,907	5,212,024	8,128,431	15,908,363	62,150	15,970,514
アジア	522,436	673,384	1,485,947	2,681,768	8,557	2,690,326
アメリカ	1,442,433	50,422	—	1,492,856	—	1,492,856
欧州	665,411	288,803	—	954,215	—	954,215
顧客との契約から生 じる収益	5,198,189	6,224,634	9,614,379	21,037,203	70,708	21,107,911
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,198,189	6,224,634	9,614,379	21,037,203	70,708	21,107,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,198,189	6,224,634	9,614,379	21,037,203	70,708	21,107,911
セグメント利益	928,001	957,922	259,874	2,145,798	21,044	2,166,843

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。